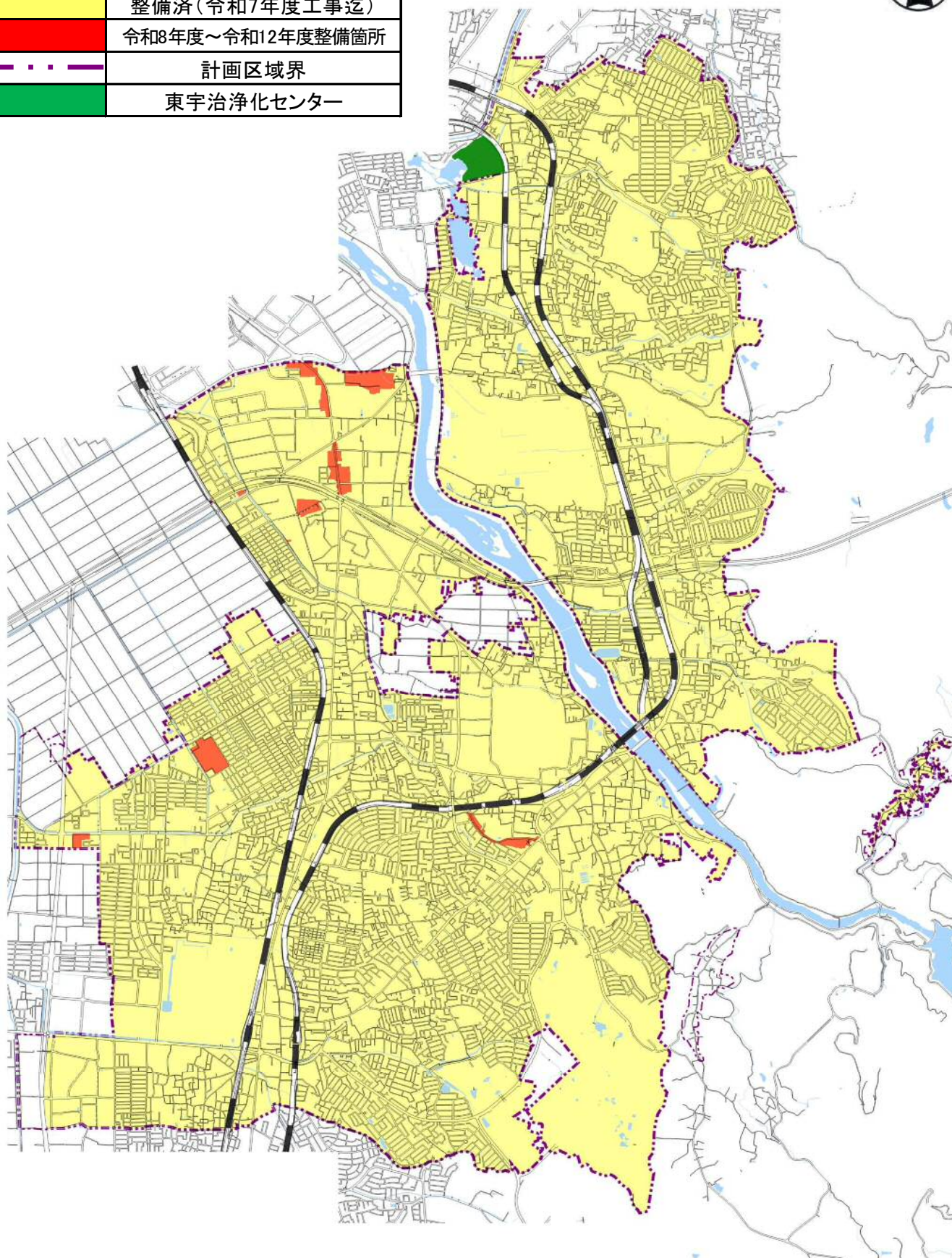


## 公共下水道処理区域図

## 記入凡例

	整備済(令和7年度工事迄)
	令和8年度～令和12年度整備箇所
	計画区域界
	東宇治浄化センター

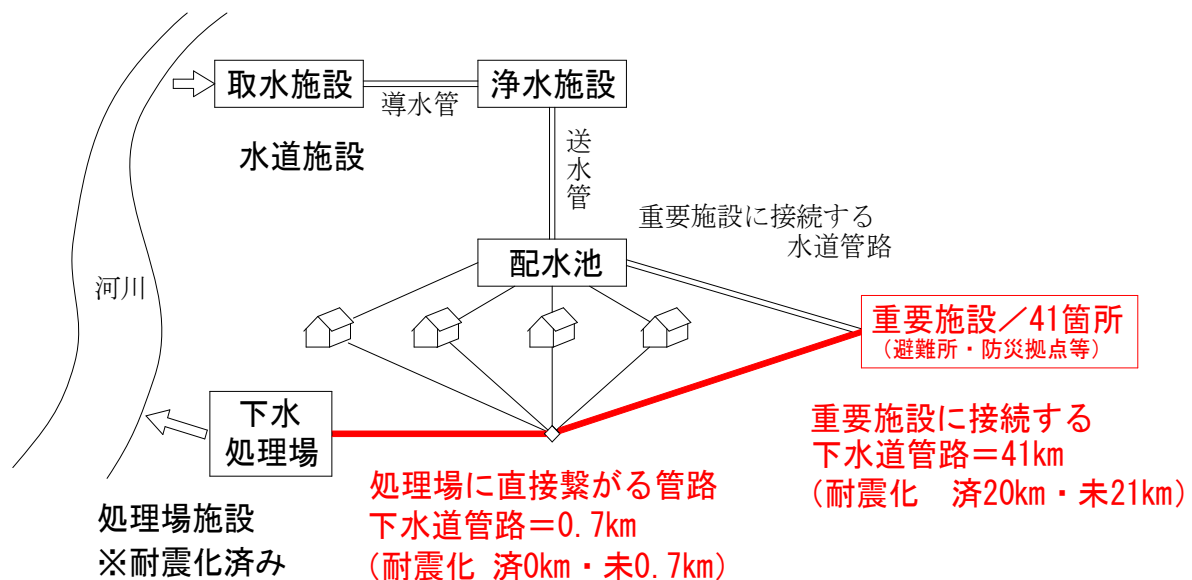


## <上下水道耐震化計画>

- 上下水道施設の耐震化災害に強い施設構築に向けて、令和 7 年 1 月に「宇治市上下水道耐震化計画」を策定

### 【 上下水道耐震化計画とは 】

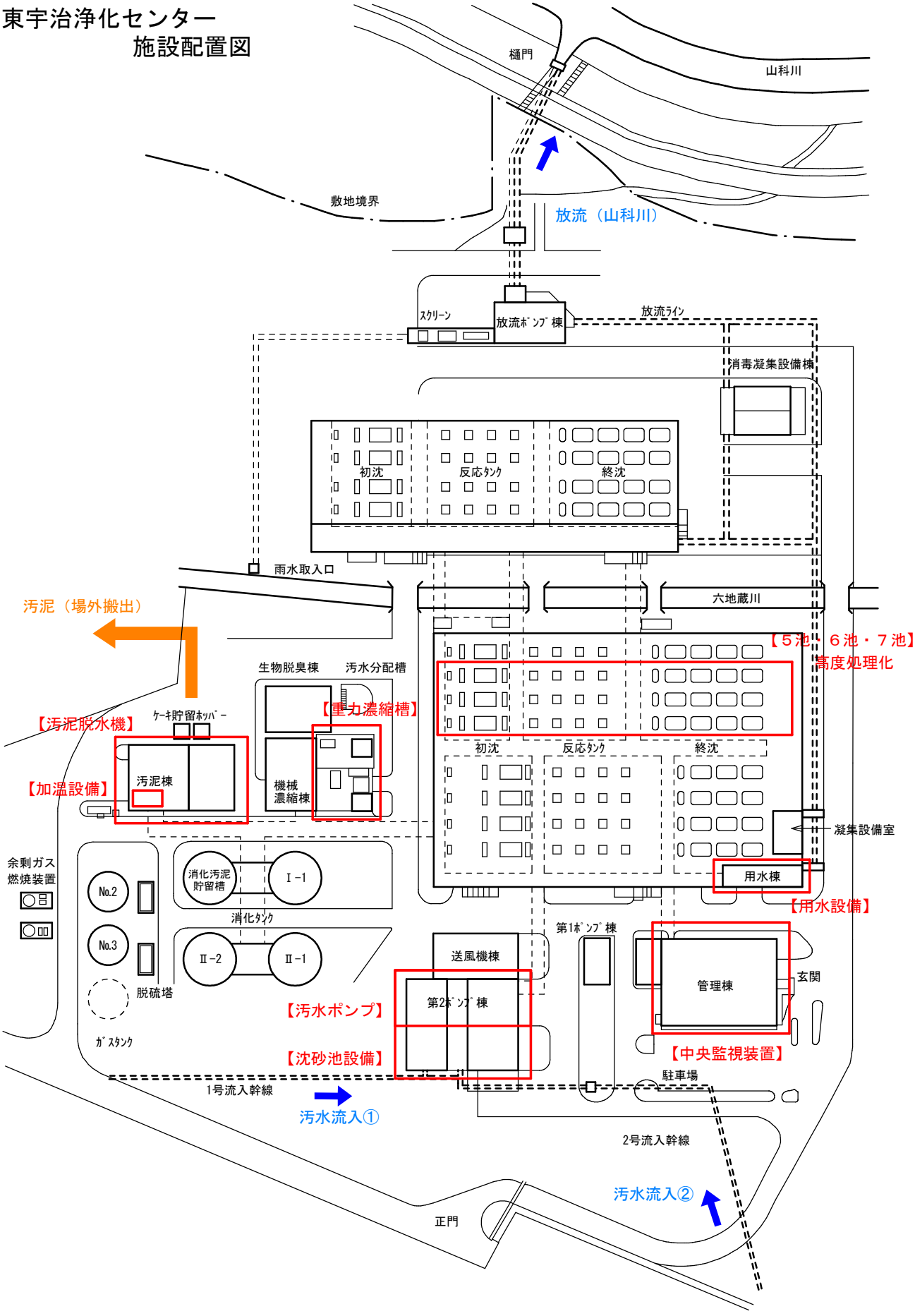
災害時においても、水の使用を可能とするためには、水道と下水道の両方の機能を確保することが重要であり、上下水道システム(急所施設及び重要施設に接続する上下水道管路等)について、上下水道一体で耐震化を推進する計画



- 急所施設  
本施設の機能が停止すれば、システム全体の機能が停止する最重要施設
- 重要施設  
宇治市地域防災計画で定められている避難所などの施設を重要施設と設定

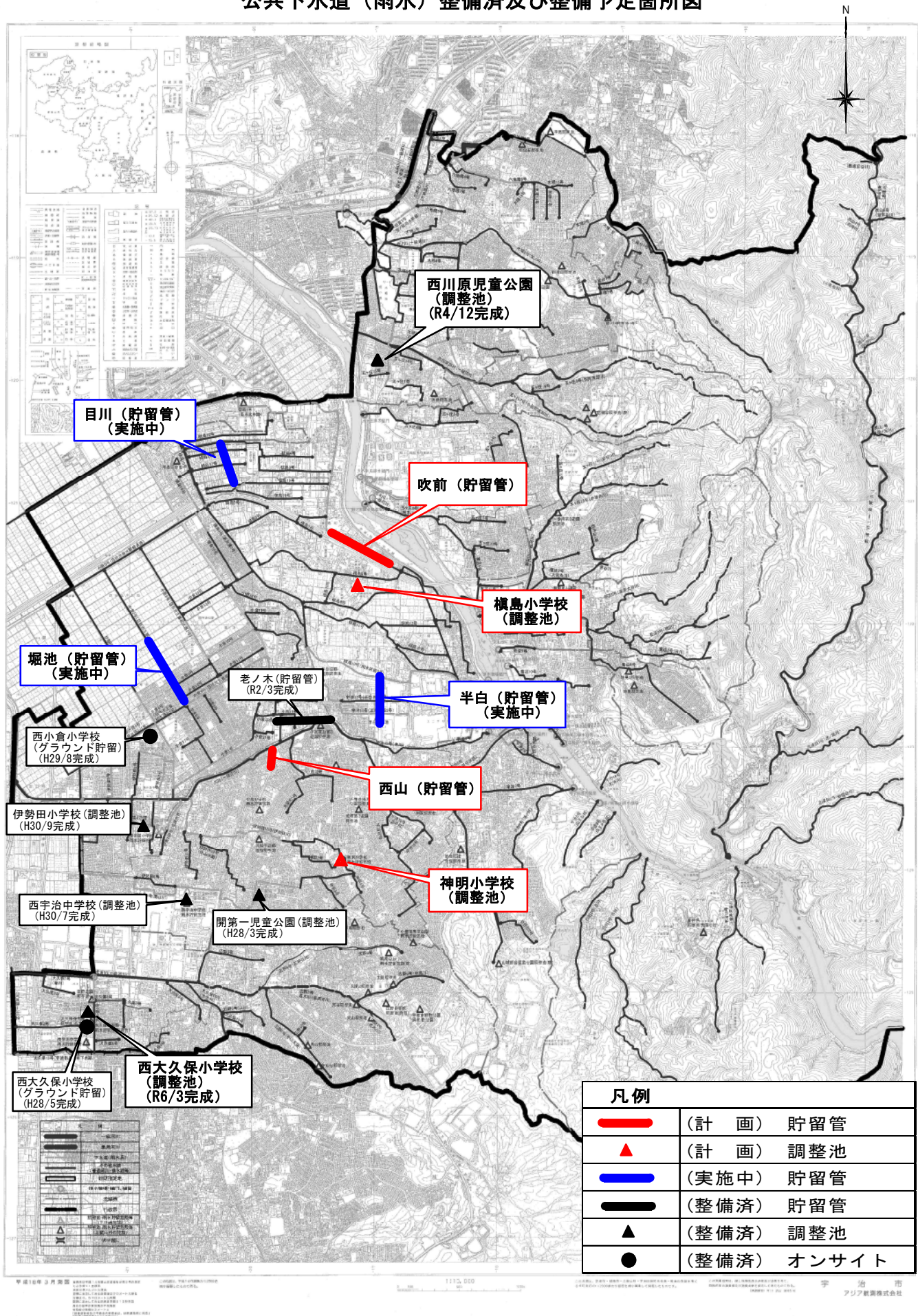
	R5 年度末			R11 年度末	
	耐震化済み	耐震化率		耐震化済み	耐震化率
処理場に直結する管路 0.7 km	0km	0%	➡	0.7 km	100%
重要施設に接続する管路 41 km	20 km	49%		26 km	63%

東宇治浄化センター  
施設配置図





## 公共下水道（雨水）整備済及び整備予定箇所図

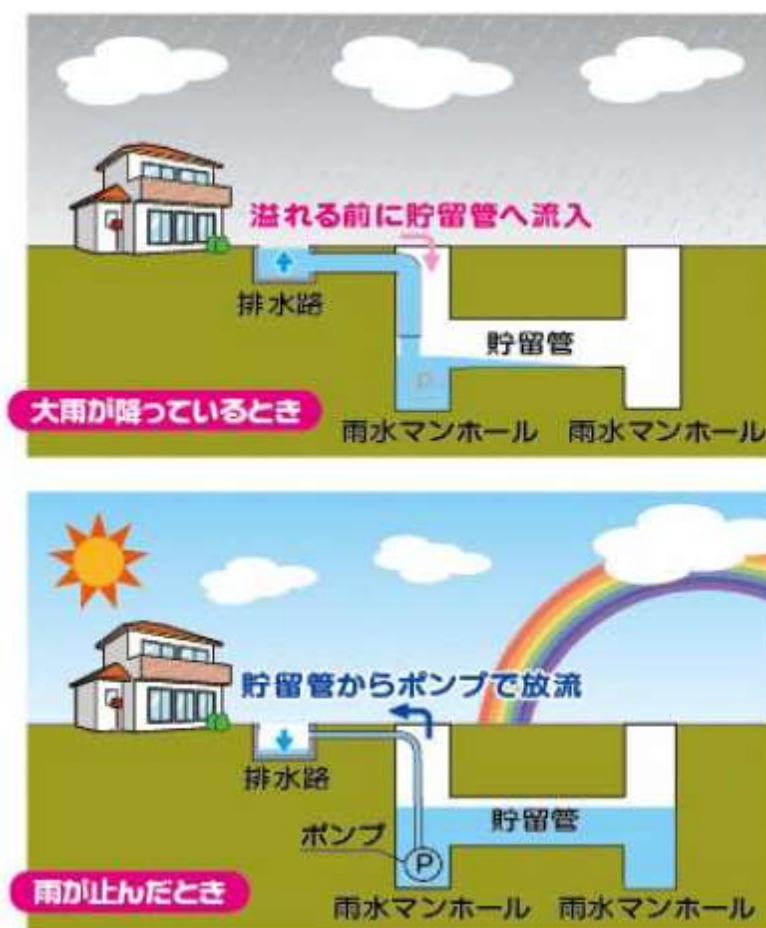
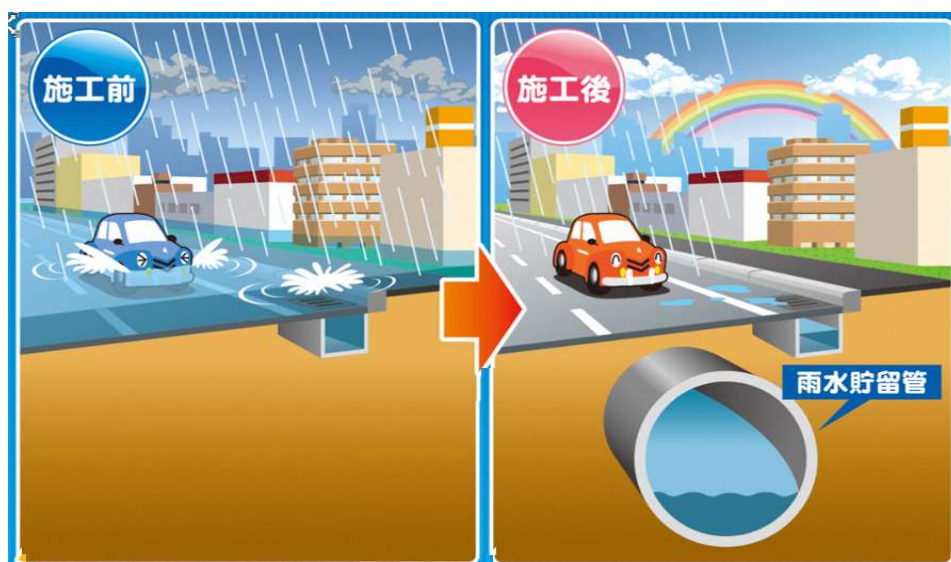


※気候変動の影響を踏まえた計画の検討を進める



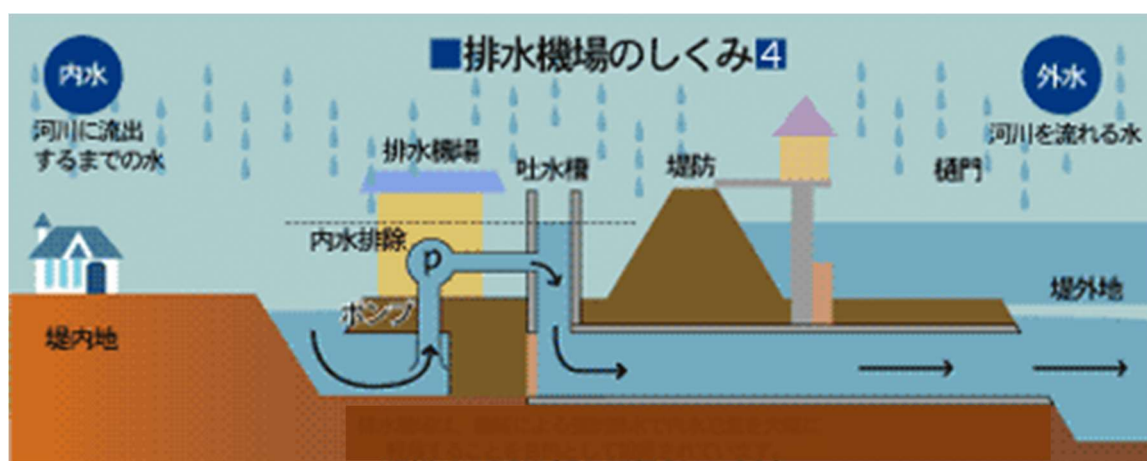
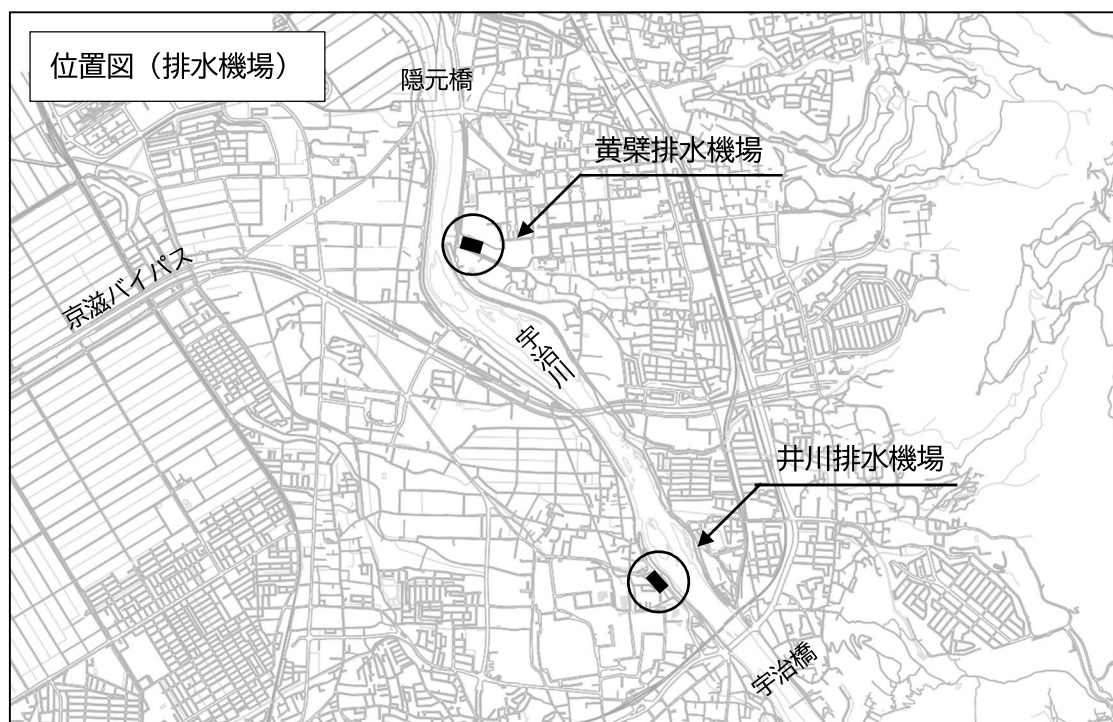
## &lt;雨水貯留施設&gt;

- 大雨が降って排水路の水位が高くなると流入管から雨水が流入し、貯留管に貯まります。雨が止んで排水路の水位が低くなると、貯留管に貯まった雨水をポンプによって、排水路に戻します。排水路から雨水が溢れる前に、貯留管へ貯めることにより下流に流れる雨水を少なくして、浸水被害を軽減します。



## ＜排水機場＞

- 土地が低く、通常時でも自然に水を排出できない地域や、宇治川の水位が上昇することで、自然に排水できなくなる地域において、ポンプの力で強制的に排水し、水害を防ぐための施設



## ＜設備更新＞

- 黄檗排水機場は平成16年に供用開始、一方、井川排水機場は平成25年に施設の全面改修を実施しており、両施設は比較的新しい施設であるが、電気・機械設備については、点検や補修を行いながら、計画的な設備更新を実施